



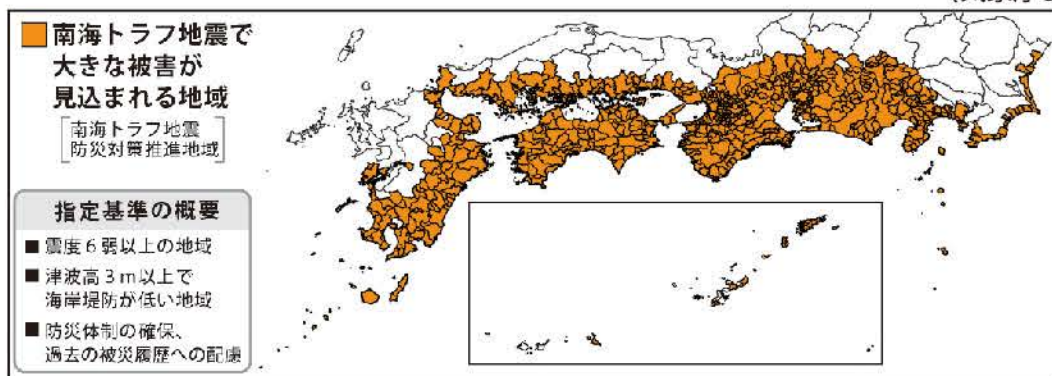
山崎断層帯地震（内陸型地震）



山崎断層帯は、岡山県東部から兵庫県南東部にかけて分布する活断層帯です。地震発生確率は**今後30年以内で5%**と評価されています。1995年に発生した阪神・淡路大震災も**内陸型地震**であり、六甲・淡路島断層帯が活動したことによる地震でした。内陸型地震は海溝型地震よりも**予測が難しく**、被害も大きくなる傾向があります。

南海トラフ地震（海溝型地震）

（気象庁より引用）



南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域とし、**約100～150年間隔**で繰り返し発生してきた大規模地震です。前回の南海トラフ地震（昭和東南海地震 1944年及び昭和南海地震 1946年）から**70年以上が経過**した現在では、次の南海トラフ地震発生の危険が高まっています。

住まいの耐震化について

●昭和56年5月以前に建てられた住宅にお住まいの方は、簡易耐震診断をしませんか？

昭和56年5月以前に建てられた住宅は、**耐震性が低い**と言われています。いざという時のために、まずは住まいの耐震化に取り組みましょう。高砂市では一人でも多くの市民の皆さんに耐震化に取り組んでいただけるよう、大きくわけて**4つの補助を用意**しています。詳しくは、**建築住宅課**までお問い合わせください。

※令和2年1月現在の補助制度です。最新の補助制度については**建築住宅課**（☎443-9035）までお問合せください。

